

特定非営利活動法人 藍住町手をつなぐ育成会 オレンジノート  
放課後等デイサービス評価票（令和7年度）

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが、十分に確保されているかと思いますか。	27				活動や支援に必要な面積として3. 3m以上の確保を目指して設定し、かつ職員配置は基準以上の配置をしておりますが、引き続き個別支援に必要な設備及び専門職員の配置に努めてまいります。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	23	1		3	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障がい特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	26	1			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	27				常に清潔であることに心がけ、その他音やにおいに関する不快な状態とならないよう配慮します。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	22	3		2	こどもの特性等に応じた専門性のある支援がなされるよう、職員に対し定期的な研修の機会を確保します。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	26			1	法人理念と支援プログラムに基づき支援を行ってまいります。
	7	こどものことを十分理解し、こどもとご家族等のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されていると思いますか。	27				
	8	個別支援計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	27				これら5領域における支援について、定期的に説明を加えつつ、実際に行う個別支援の内容と、その実施結果について、みなさまに分かりやすい方法でさらに詳しく説明してまいります。
	9	個別支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	26	1			計画が具体的ではない部分があったかもしれません。実態に応じた支援内容等の設定と説明に努めてまいります。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	25			2	固定化されない工夫と、活動プログラムに必要な期間について、その内容とともに説明してまいります。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	11	4	3	9	特に児童館との交流の機会を増やしていく予定で、その様子が分かるよう情報発信してまいります。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等についてていねいな説明がありましたか。	27				
	13	「個別支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	27				
	14	事業所では、ご家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や、ご家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13	4	2	8	「手をつなぐ親の会」との連携により、特に情報提供の機会を増やしてまいります。また、ご家族が参加できる研修会などの機会を提供できるように努めます。
ご家族等への説明等							

ご家族等への説明等	15	日頃から子どもの状況をご家族と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解がされていると思いますか。	27				子どもの状況に関する情報交換は、常に密に行うとともに、その方法についてもLINE_WORKSなどSNSを用いた方法により、利用者の利便性の高いものとしていきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	26			1	
	17	事業所の職員から、共感的に支援をされていると思いますか。	26	1			今後ともオレンジノートが生活支援の「伴走者」であると感じていただけるよう支援に努めてまいります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、ご家族同士の交流の機会が設けられるなど、ご家族への支援がされて、また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	13	2	2	10	本児の支援を展開する上で父母とともにきょうだいに関する支援が充実するよう交流の機会を設けていきます。
	19	こどもやご家族等からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもやご家族等に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際には、迅速かつ適切に対応されていますか。	23	1		3	相談体制とその窓口の整備(どこに、誰に相談すればよいかなど)の明確化に努めます。
	20	こどもやご家族等との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	27				活動概要、行事予定、連絡体制などは定期的に行うとともに、その情報が、常に最新のものであるよう、情報管理にも注意を払うようにします。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を、こどもやご家族等に対して発信されていますか。	25	1		1	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	27				
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、ご家族等に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	21	1		5	各対応マニュアルに関する周知と説明が不十分であるとともに訓練の実施が明確ではない現状であるため、今後、これらの周知・説明・実施報告の体制を、より一層強化してまいります。以後も継続的に訓練を行ってまいります。
非常時等の対応	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15	2		10	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	20			7	
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について、説明がされていると思いますか。	22	1	1	3	
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	27				
満足度	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	24	3			こどもが楽しんで活動できるよう、また、活動の見通しが持てる情報発信と説明に努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	26	1			

利用児童数：37名（うちきょうだいの場合は世帯とした。）

対象者数：32件 回収数：27件 回収率：84%

公表日：令和7年11月27日